

監督および競技者に対する注意事項

1 競技規則について

本大会は、2019年（公財）日本陸上競技連盟競技規則および同駅伝競走規準、並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

2 出場選手について

- (1) 正式オーダーは、学校受付時に提出する。（13：00～13：30 屋内練習場）
- (2) 正式オーダー提出後の選手変更は、病気等、不慮の事故の場合であり、当日の委員長会議で検討して決定する。なお、選手変更が認められた場合は補員をその区間の交代として補充するものとする。

3 競技運営について

- (1) 選手は大会事務局が準備したナンバーカードを胸背部に付けること。
- (2) タスキは、大会事務局が準備したものを使用する。
- (3) タスキは、肩から脇の下にかけなければならない。かけていない場合は失格となることがある。ただし中継所前後は手に持って走っても良いができる限り短時間で規定に沿うようにすること。
- (4) レース中に、走者が不慮の事故のため競技を中止した場合は、駅伝競走規準により次走区から次走者を出発させる。この場合の出発の時期は最後尾者から1分後に出発するものとする。この場合、総合記録は認めないが、事故のあった区間以外の区間記録は認める。
- (5) 人や車（自転車）による伴走および飲食物の補給、その他の援助を行うことはできない。伴走およびこれに類するまぎらわしい行為のあった場合は、失格の対象となる。レース中、中央道に大会車以外は乗り入れてはならない。
- (6) 選手は指示されたコースの中央線を越えてはならない。中継所において、タスキを渡し終えた選手は速やかにコースから出ること。
- (7) 出発線におけるコース順は学校受付時に抽選により決定し、2列（1～15、16～30）とする。
- (8) 出発は次のような合図をする。
 - ① 10分前、5分前、1分前、30秒前、20秒前、10秒前をそれぞれ予告する。
 - ② 「用意」は合図せず「10秒前」と通告する。この時「On your marks」の姿勢で必ず静止する。
 - ③ 合図はピストルで行う。

(9) 出発について第1区走者への注意

① 10分前に整列する。 ② 2分前に競技服装になる。 ③ 30秒前で出発線に並ぶ。

(10) 中継点の受け渡し区域は中継線の前方20m以内とする。

(11) 1区の走者の衣服は指定の袋に入れ、役員の指示する場所に置く。

(12) レース中の事故には、応急処置を行うが、主催者はそれ以外は一切の責任を負わない。

(13) アップ場所については、コース以外の場所で行うものとする。

(14) コースを間違えた場合は、間違えた場所に戻って競技を再開するものとする。

(15) 中継所付近は、選手、役員以外の立入りを禁止する。

4 競技者の招集場所と時間について

(1) 招集場所は陸上競技場内屋内練習場とする。

(2) 点呼は、各区間とも招集場所で行う。(ナンバーカードの確認を行う。)点呼では学校名、名前を呼ばれたら返事をする。点呼を受けた後、役員の誘導によって中継所に移動する。

(3) 招集時間は下表による。

【女子】

中継所	点呼時刻
第1区走者	10:10
第2区走者	10:20
第3区走者	10:25
第4区走者	10:35
第5区走者	10:40

【男子】

中継所	点呼時刻
第1区走者	11:25
第2区走者	11:35
第3区走者	11:45
第4区走者	11:50
第5区走者	12:00
第6区走者	12:10

5 その他

(1) 総合記録は、閉会式後、監督章と引き替えに1部配布する。

(2) 選手・応援者は、直前直後の横断やコースへのはみ出し等、競技の妨げになるような行為を厳に慎むこと。

(3) 「のぼり」等を持つての応援は、コースにはみ出すなど走者の邪魔にならないよう十分注意すること。

(4) ハンドマイクの使用は禁止する。また、トランシーバーの使用についても、競技運営に支障のないよう留意すること。